



明日から3月、 残りわずかなこのクラスでの時間 あなたは何を大切にしますか？

～3月11日(金) 3年生卒業式 あと9日

3月24日(木) 修了式 あと17日～

気が付いたら、もう3月です。

学校に来てクラスの友だちと過ごす日数を書きました。公立高校の入試がある日を除くと3年生は、中宮中生活の残りはわずか8日です。

4月からの新しい生活に向けて、今がんばらなくてはならないことを考え、実行することはすごく大切です。しっかりと準備をしましょう。

でも、それと同じくらい大切なのは、残り少なくなった今のクラスの友だちとの間でしかできないことをやり切ることです。例えば、一年前の4月、みんなで話し合って教室に掲げた「学級目標」にどこまで近づけたでしょうか。今一度、同じクラスの友だちとの一年を思い出してみてください。どんなことを思い出しますか？そして、同じクラスでいたのに、あいさつすら交わしたことが無い友だちはいませんか？

みんなが、このクラスで良かったと思えるゴール、「学級目標の達成」をあきらめずに、何か自分ができることを一つずつ行動してみましょう。そしてそんな行動を、クラスの人数分集められたら、あなたのクラスの3月のゴールは、4月からのあなたの新しい生活への力強いスタートラインに変わります。

3月、あなたたちがどこまでできるか、期待しています。

なにが 君の しあわせ
なにをして よろこぶ
わからないまま おわる
そんなのはいやだ！
忘れないで 夢を
こぼさないで 涙
だから 君は 飛ぶんだ
どこまでも
そうだ おそれないで
みんなのために
愛と 勇気だけが ともだちさ
やなせたかし
アンパンマンのマーチより



2月25日(金)小学生クラブ見学会(リモート)で

校区3小学校の6年生と交流しました！

4月から中宮中学校にやってくる山田小・明倫小・中宮小の6年生の「クラブ見学会」をリモートで開催しました。クラブ活動の様子を直接見てもらうことはできませんでしたが、各クラブの練習の様子と説明を動画にして各学校に届けました。

当日は、小学校の各教室でその動画を見た後、14時からオンラインで各教室と中学校コンピュータ室をつないでの質問コーナーで交流しました。事前に6年生に実施したアンケートで出されていた「テストについて」「部活動の時間」などの質問に、中学校生徒会本部の人たちが、少しアドリブも加えながら、わかりやすく一生懸命、答えていました。6年生のみなさん、一か月後、中宮中で会える日を楽しみにしています！



2月24・25日3年生 助産師さんから性と命の大切さを学びました

3年生は、保健体育科の特別授業として「じょさんしの杜ふわり」の方々をゲストティーチャーに迎え、今回は男女別で性と命の大切さを学ぶ時間を持ちました。命の誕生の瞬間の動画を見た後、「出産」、「男女の体のしくみ」、「性交渉について」、そして「命を丸ごと引き受ける責任」、「人工妊娠中絶」や「性感染症」さらには「避妊と性感染症の予防法」など大人になっていくうえで知っておかなければならないことを具体的に説明していただきました。締めは出産・誕生の動画、流れる歌に合わせて生徒数人が小声で歌う温かな時間でした。正しい知識と自分自身を大切にできる心を持つことが、愛する人と小さな命を守り、大切にすることにつながります。ぜひご家庭でも、大切な性と命について話をする時間を持ってあげてください。

令和3年度 卒業式を挙行します。3月11日(金) 10時 開式 本校体育館

3年生の義務教育修了、新しい世界への旅立ちを祝う卒業式、今年は、生徒・3年生保護者(家族一名のみ)・教職員での開催とするなど感染拡大予防を徹底し、「卒業の歌」等の歌唱を実施します。保護者様は入場者証を持参し、会場内では着席を徹底、座席以外からの撮影を遠慮いただくなど、ご協力をお願いします。
★卒業式日程などの詳細、入場される際の確認に必要な入場者証は 配布済「案内」で確認してください。

3億もの精子がある中で、精子が卵子のまわりにつくのは200~300、その中でたった一つの精子と卵子が結びついて生まれる。今、生きているのはキセキなんだなと思いました。最初は「・」こんなに小さい受精卵だったのが、こんなに大きくなると知っておどろいた。今日から自分も、相手がいやがっていることやいやなことをしないようにしようと思った。「自分のこころとからだは自分のもの」「相手のこころもからだも相手のもの」という二つのことばがすごくいい言葉だなと思いました。

こんな風に、命の大切さが学べる授業は、とても大切だと思うので、これからも続けていってもらいたいです。

1年生「助産師による命の教育出前授業」感想文より

たれもかれもが力いっぱい のびのびとがんばれる中宮中を！

「命の授業」を受けて、一年生が書いたように、あなた自身の心と体が大切のように、あなたの隣の人の心と体もまた、かけがえがありません。この世の中には、傷ついてよい体も心も、無いのです。

しかし、世の中には未だに人の命を奪う戦争があり、「差別」があります。江戸時代につくられた身分制度が深くかかわっている「部落差別」もそうした「差別」の一つです。

3月3日は、ちょうど100年前に部落差別に苦しめられてきた人たちが、「あらゆる差別が無い社会」の実現を求めて京都で「全国水平社」を設立した日です。

この日、部落差別に苦しめられてきた人たちが発表した「水平社宣言」は、「人の世に熱あれ、人間に光あれ」とすべての人に対する尊敬の心と行動を社会の人々に訴えています。さらに、差別される痛みを知っている自分たちこそが、「人の世の冷たさがどんなに冷たいか、人間を大切にすることがどんなことであるかをよく知っている」と、差別が無い「水平な社会」の実現に向けて、団結しようと呼びかけたのです。

それ以来、部落差別を無くそうとする取り組みは続けられ、2016年には部落差別解消法が制定されましたが、結婚差別やネット上での差別をする人がいまだにいます。また、そうした状況の中で先日の大阪府中学生チャレンジテスト(3年)では、差別されてきた人たちの気持ちをよく理解しない人が起こす「マイクロ・アグレッション」とも言えるような出題が見過ごされており、問題となりました。

「差別」は人がつくり、人がすることです。だから、人の力できっとなくせます。大切なのは、みんなが差別を無くすために「行動する」ということです。

そしてそれは、一番身近な差別、「いじめ」も同じです。まわりにいる人間が、本気で「いじめ」をなくそうと行動すれば、「いじめ」はきっとなくせます

「差別」や「いじめ」におびえなくてよい世の中を来させるため、差別について正しく学び、自分と人を大切にすること、その第一歩として身の回りにある「いじめ」を許さない中宮中を作りましょう。

大きな仕事、生きがいのある仕事の第一歩です。

いつの日か、かならずー

吉野 源三郎

たれもかれもが力いっぱい
のびのびと生きてゆける世の中
たれもかれも「生まれてきてよかった」
と思えるような世の中
じぶんをたいせつにすることが
同時に人をたいせつにすることになる世の中
そういう世の中を させせる仕事が
きみたちの行くてに まっている
大きな 大きな仕事
生きがいのある仕事

全国に散らばっている仲間たちよ、団結せよ。

長い間いじめられてきた仲間たちよ、解放令が出されてから50年の間にいろいろな方法と、多くの人々によって運動が行われてきたが、差別はなくなっていない。同情やあわれみでは、差別はなくなるのだ。今、われわれの中から人間を尊敬することによって、自らを解放しようと団結し、行動していくのは当然である。(中略)

われわれは、自分を低くみるような言葉やおくびょうな行動によって、たくましく生きてきた祖先をはずかしめたり、人間の尊厳をおかしたりしてはならない。そうして、人の世の冷たさがどんなに冷たいか、人間を大切にすることがどんなことであるかをよく知っているわれわれは、心から人生の熱と光を願い求めるものである。

水平社はこのように生まれた。

人の世に熱あれ、人間に光あれ。

大正十一年 三月三日 全国水平社創立大会

資料「水平社宣言」(子ども用にやさしくしたもの)

大阪府チャレンジテスト 国語の設問について

江戸時代に作られた一休和尚を題材にした出題で、とんち話の内容が「皮への偏見や皮革製品を扱う人への差別の気持ちがある」などの指摘がありました。

死や血などをおそれる意識や、被差別身分の人たちに課された役(仕事)など、歴史的な背景についての理解が不十分だと、差別を助長したり、自分が差別されるかと不安になる生徒が出てしまったりします。

部落問題を正しく学習する必要があります。